

知っておきたい！私たちの「食」の現実

ドキュメンタリー映画『遺伝子組み換えルーレット』上映 & ジェフリー・M・スミスさん 特別講演会

米国で起こっている遺伝子組み換え食品による健康被害——。米国で制作されたドキュメンタリー映画『遺伝子組み換えルーレット』は、医学・医療関係者、政府の食品安全審査に関わる研究者、自閉症やアレルギーに苦しむ子どもの親たち、家畜の健康障害を扱った獣医など、多数の証言と科学的根拠(エビデンス)からその実態を浮かび上がらせます。

遺伝子組み換え問題の専門家として国際的に著名なジェフリー・M・スミス氏が制作した本作品は、米国で注目を浴び、GMO 食品の安全性を問う議論を活性化し、米国の GMO 反対運動に大きく貢献しました。このたび、ジェフリー・M・スミス氏が来日することとなり、映画上映と特別講演会を開催いたします。

世界では遺伝子組み換え作物の問題に対する懸念が高まり、規制する傾向が強まっているにも関わらず、残念ながら日本では次から次へと遺伝子組み換え作物が承認される状況が続いています。

家族の健康、食を私たちの手に取り戻すために、まず何をしたらいいのか、さらには社会の食のシステムをどう変えていけばいいのか、本作品と講演を通じてともに考え、行動しましょう。



ジェフリー・M・スミスさん

「Institute for Responsible Technology:IRT(責任ある技術者協会)」創設者。1958年米国に生まれる。遺伝子組み換え問題の専門家、消費者運動のリーダーとして国際的に活躍。日本語翻訳された著書に『偽りの種子—遺伝子組み換え食品をめぐるアメリカの嘘と謀略』(家の光協会 2004年)。現在は遺伝子組み換え作物に関する新作ドキュメンタリー映画『Secret Ingredients』を製作中。

●日時:2016年2月27日(土)13:30~16:45 (開場 13:00)

●会場:東京ウィメンズプラザ 地下 1F ホール(地図裏面)

●参加費:1800円 ※予約優先

●プログラム(予定)

第1部:ドキュメンタリー映画『遺伝子組み換えルーレット』上映(85分)※日本語字幕付

第2部:ジェフリー・M・スミスさん 特別講演会 ※同時通訳あり

●主催:ジェフリー・M・スミスさん招聘・東京実行委員会 (50音順/2月8日現在)

アジア太平洋資料センター(PARC)/APLA/遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン/オルタートレード・ジャパン(ATJ)
/生活クラブ東京/生活クラブ連合会/大地を守る会 /たねと食とひと@フォーラム/NaturalStyle/農民連食品分析センター
/パルシステム連合会/パルシステム東京 /らでいっしゅぼーや/Radixの会/ルナ・オーガニックインスティテュート

お問い合わせ・お申込み

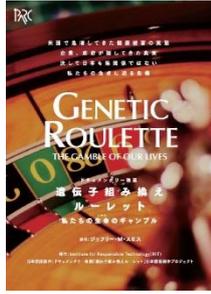
▶映画公式サイト申し込みフォームから <http://geneticroulette.net/>

▶TEL 03-5209-3455 FAX.03-5209-3453 (アジア太平洋資料センター)

▶TEL03-5273-8176 FAX03-5273-8162 (オルター・トレード・ジャパン)

▶E-mail: info@geneticroulette.net

ドキュメンタリー映画『遺伝子組み換えルーレット—私たちの生命のギャンブル』



原作・脚本・プロデュース・監督:ジェフリー・M・スミス
 原題: Genetic Roulette: The Gamble of Our Lives
 制作: Institute for Responsible Technology (IRT) / 85分 / 米国 / 2012年
 日本語版製作 ドキュメンタリー映画『遺伝子組み換えルーレット』日本語版製作プロジェクト
 企画 オルター・トレード・ジャパン (ATJ)
 協力 ルナ・オーガニック・インスティテュート
 制作 特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター (PARC) 2015年
 DVD / 85分 / 日本語字幕 / 本体 4,000円 + 税 (図書館価格: 本体 15,000円 + 税)

【映画の各チャプター紹介】



① GMO とは？

異なる生物の遺伝子を掛け合わせる技術によって生まれる GMO (遺伝子組み換え生物)。食物の遺伝子組み換えには除草剤耐性作物と殺虫剤生成作物の2つがあります。これらが作られる過程で予期せぬ副作用が生じるのです。



② GMO と健康被害

米国では 1990 年代後半から遺伝子組み換え大豆やトウモロコシの生産が拡大してきました。それに伴いアレルギー、糖尿病、自閉症、不妊、出生障害をはじめとする慢性疾患が急増。遺伝子組み換えとの関係を探ります。



③ 家畜に何が起きている？

遺伝子組み換えの飼料を食べている家畜やペットにも出生異常や不妊、多くの健康問題が報告されています。飼料を非 GMO に変えたことで劇的に回復した畜産農家の声が数多く紹介されます。



④ 子どもがあぶない

米国政府が無料で配布している粉ミルク。大豆由来の粉ミルクから驚くべき数値の遺伝子組み換えが発見されました。自閉症の子どもの持つ母親たちは「食べ物をオーガニックに変えたら症状が回復した」と語ります。



⑤ GMO の神話、科学者への攻撃

遺伝子組み換え作物の危険性を研究、発表した少数の独立系の研究者たちは、バイテック企業からの圧力や脅し、研究資金の中断などのリスクを負っています。映画では職を追われた勇気ある研究者たちの証言の数々が語られます。



⑥ インドと南アフリカで起きていること

モンサント社がインドに広げた遺伝子組み換え綿 (Bt 綿) は、農民や家畜に深刻な健康被害を引き起こしています。多くの農家が高い種子と農薬を買いますが、ヴァンダナ・シヴァ氏は「借金漬けで自殺した 25 万人の農民の4分の3が Bt 綿栽培地域だ」と語ります。



⑦ さて、どうする？

米国では遺伝子組み換え食品表示を求める運動が全国規模で広がっています。その主役は母親・父親たち。周囲の人たちに語りかけ、GMO 食品を避けることで企業を変え、農業を変えられます。希望は日々の食卓から、始まります。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67
 ・JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ副都心線
 渋谷駅 宮益坂口から徒歩12分
 ・東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線
 表参道駅 B2出口から徒歩7分